

平成28年度 十日町市・中魚沼郡算数・数学部 活動報告

郡市教振算数・数学部長 丸田 俊一

1 研修テーマ

「活用力を育む算数・数学授業の工夫」

2 研修の概要

- (1) 「算数・数学部の研修推進について」の立案（5月）
- (2) 研修テーマに対する各自の研修計画を作成（1学期）
- (3) 夏季一斉研修会（8月23日）
- (4) 各自の授業実践と授業研究会及び数学担当者部会（11月9日）
- (5) 実践レポート（教材、学習プリント等）の提出（1月）

3 研修の実際

郡市教育振興会算数・数学部では、今年度も市教育センター、中越教育事務所と連携し、活用力を育むために授業力向上に取り組んできた。県の学力向上専門監事業も2年目となり、成果を共有し部員相互の同僚性、協働性を高める研修を位置付けた。

夏季一斉研修会では、研修主題を踏まえ、部員の実践発表を通して授業マネジメントを共有することができた。また、県立教育センター西村健一指導主事からは、「全国学力学習状況調査B問題対策」と題して、次期学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」について御指導いただいた。「今まで知らなかったことを知る」段階から「分かったことについて活用できるだけでなく、他者に対して自分の言葉で説明できる」段階まで高めていく必要がある。

11月には、下条中学校を会場に2年生「1次関数」で授業研究会を行い、表、式、グラフの活用について研修を深めることができた。その後、小学校の教員も数学担当者部会へ参加し、家庭学習習慣の確立に向けて協議した。

1～2月には、各部員の実践した教材、学習プリント等を市教育センターのメールボックスで共有し、成果を共有していく。



授業研究会 グループ協議 11月9日

4 成果と課題

今年度も市教育センター徳永囑託指導主事、中越教育事務所三澤指導主事からきめ細かに指導していただき、充実した研修を行うことができた。指導方法の不断の見直しが求められている。平成28年度全国学力学習状況調査の結果から、十日町市、津南町の学力は確実に伸びてきている。とくに、中学校数学での伸びが著しい。2年目となった「学力向上専門監事業」の成果を共有し、児童生徒が「どのように学んだのか」という視点から授業を考えることができた。小中が連携して学力向上していこうとする雰囲気が醸成されてきている。

今後、「アクティブラーニングの意義」を踏まえた単元づくりを意識するとともに、各校内研修において部員がリーダーとしての役割を果たし、授業改善、授業改革に向けて新たな一歩が踏み出せるよう研修の質を高めていく。